

フットサル大会

惜しくも3位

都市計新聞

発行者：
 垣内俊哉
 後藤大揮
 静川健斗
 佐武龍一
 ブラウン 吉生
 リチャード



二月五日 日曜日、岡村先生が主催する研究室対抗フットサル大会「岡村杯」が開催された。参加チームは「土木情報研究室」「岩盤工学研究室」「コンクリート研究室」「地盤工学研究室」「構造水理工学研究室」「交通・都市計画研究室」「水工学研究室」「保全生態学研究室」の計8チームであった。この日に向けて気合を入れ、研究室のメンバーで練習をしている様子が見られた。交通・都市計画研究では二人のメンバーが事前に体育館を借りて練習を行った。

当日、体育館は熱気に包まれていた。みんなので「シャツをそろえ挑む研究室もあった。練習を経て万全の状態に挑んだ交通・都市計画研究室は、予選から激しい戦いを繰り広げた。大きな歓声の中、プレイヤーたちは必死にボールを追いゴールを目指した。出だしは悪かったものの、作戦を練り挑んだ。戦目は勝利をつかんだ。結果、勝一敗の成績で予選を通過し、決勝トーナメント進出の座をつかみ取った。迎えた決勝トーナメントでは優勝候補の地盤工学研究室に破れ、王冠を手にすることはできなかった。しかし、位決定戦では、予選で負けた構造水理工学研究室に勝利し、見事に位に輝いた。「岡村杯」を経て、メンバーたちの間により一層強い絆が生まれたのではないだろうか。この舞台で鍛えられた仲間意識と協力の精神はメンバーの研究への姿勢にも新たな活力を与え、研究室全体に新しい活気をもたらすことを期待する。



都市計 OB 情報

2020年に卒業された先輩にインタビューしました。

名前 伊藤 伶那
修了年度 2020年度
勤務先 株式会社芙蓉コンサルタント
仕事内容 現在は主に砂防構造物の設計を行っています。
研究室での思い出 1度くらいだったと思いますが、研究室の方々とトランプをして遊んだことです。
学生時代にやってよかったこと 長期休暇中に様々な場所へ旅行をしておけばよかったです。社会人になると、まとまった休みが取りづらくなり、

大抵その翌日には仕事があるということが多いので、時間がある学生の間にしていただいた方がいいです。
学生へのメッセージ 学問や趣味、娯楽など少しでも興味関心を持ったことにはぜひ積極的に取り組んでみてください。
先生方へのメッセージ 先生方は懇切丁寧に指導いただきましてありがとうございます。先生方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

社会の断面

廃食油が38万球の桜色に

廃食油をもとに38万球のLEDで街を照らす「目黒川みんなのイルミネーション2023」が10日夕、東京都品川区の五反田ふれあい水辺広場と目黒川沿道で始まった。「桜色」のあかりがともし、幻想的な雰囲気包まれた。地元企業などで行う実行委員会と品川区が共催した。主催者によると、2010年から続く企画で、家庭や飲食店から出た使用済みの食用油を回収してバイオディーゼル燃料にリサイクルし、10%自家発電で点灯しているという。実行委員会は、「電力不足が叫ばれる昨今だからこそ、ひと・地域・企業と自治体が一体となつて、エネルギーの地産地消を実現することの大切さを広めたい」と語る。地域の子供たちは「毎年楽しみにしている」と笑顔だ。将来を担う子供たちがエネルギー問題に身近に感じる良い機会となつただろう。

自己紹介

倉内研に 仮配属された 3 回生達

今年から環プロメンバー

として仮配属になります



名前: 楠 笙汰

出身: 愛媛県

一言: 野球をやっていたり
筋トレしたり、体を
動かすことが好きです。



名前: 福田 駿

出身: 兵庫県

一言: スポーツを見るのもする
ことも好きです。



名前: 市村 隼也

出身: 徳島県

一言: この研究室を盛り上げるのは、
僕の役目です。



名前: 増田 賢志朗

出身: 広島県

一言: 根っからの真面目です。
よろしくお願いします。



名前: 瀬藤 直幹

出身: 大阪府

一言: よく食べることから、
実家では残飯処理班です。

歓迎会

二月 8 日、学内のメープルにて、新たに都市計画研究室に仮配属された 3 年生のための歓迎会が開催されました。このイベントは、去年に引き続き行われ、参加者が自由に歩き回り、多くのコミュニケーションを図る機会を提供することを目的として、立食式で行われました。

今回の歓迎会では、初めての体験として多くの学びを得ることができました。特に、最初の一杯としてビールか烏龍茶を選ぶ文化は、参加者全員が揃って乾杯を楽しむために、飲み物を迅速に提供することの重要性を実感しました。また、先輩や先生方から、ビールを正しい方法で注ぐ技術を教わる機会もあり、普段の授業や日常生活では得られない、社会人としての貴重なスキルを身に付けることができました。しかし、最近の若者の間では、上司や先輩との飲み会への参加が減少しているという社会問題が浮き彫りになっています。



歓迎会



表彰された先輩方

これは、コミュニケーションの手段としての「飲みニケーション」が失われつつあることを示しており、これにより職場での人間関係構築や情報交換の機会が減少している可能性があります。このような状況下で、若い世代がどのようにして社会に適応し、良好な職場環境を築くかが、今後の大きな課題となっているのです。

さらに、三名の先輩たちが表彰されました。六月に行われた土木学会で優秀な成績を残し、その功績が讃えられました。後輩たちにとって刺激的であり、学業と研究への意欲を高めるきっかけとなりました。歓迎会は、新しい研究室の素晴らしいスタートを切るための絶好の機会となりました。この会では、参加者同士が親しくなり、学びの環境をより豊かなものにすることができました。今後、このような交流の場をさらに増やし、都市計画研究室がより一層、団結を見せることを期待しています。